

公益財団法人 東京都農林水産振興財団  
東京都農林総合研究センター  
森林・林業関係研究発表会の開催



日時：平成28年6月3日（金） 14：00～15：00

場所：農林総合研究センター日の出庁舎（東京都森林組合）研修室

1. 開会の挨拶 14：00

2. 研究発表

(1) 皆伐地における広葉樹の森づくり

～標高の高いところで広葉樹をうまく育てるには～ 14：05～14：20

標高800m以上の皆伐地で植栽試験を行ったところ、植栽木の多くが枯死することが分かり、この原因として、誤伐やシカによる食害などが考えられました。その中でも生育が良好であったカツラの樹種特性を調べ、同様の特性を持つ7樹種を選出しました。（新井一司）

(2) 少花粉ヒノキにおける採種技術の確立

～花粉の少ないヒノキを普及します～ 14：20～14：35

少花粉ヒノキは、ペースト状のホルモン剤を使って種子を採種しています。その採種木を育てるのは通常8年かかりますが、ホルモン剤の施用方法を改良することで、育てる期間を2年に短縮できました。これにより、昨年度から少花粉ヒノキの種子生産の事業が開始されました。（畑 尚子）

(3) 『海の森』植生基盤における緑化木の生育

～東京湾に新しい森が産まれます～ 14：35～14：50

「海の森」の植栽基盤は、都内の建設発生土に都内で発生した剪定枝の堆肥を2割混入しています。これが緑化木の生育に及ぼす影響を調査したところ、植栽された樹木に著しい生育不良がみられないことから、この植生基盤は樹木の生育に効果的に働いていると考えられます。（佐藤澄仁）

4. 閉会

15：00



【お問い合わせ】 東京都農林総合研究センター緑化森林科 中村・畑 Tel.042-528-0538（夕 7時～11時）